

コロナ禍による 世界物流への 影響を探る

コロナ禍は世界の物流に多大な影響を与えています。「巣ごもり需要」で貨物量が増える一方、感染拡大による荷役労働力の不足やコンテナ不足により海上運賃が高騰。日本でも私たちに身近な商品が軒並み値上がりするなど、影響が及んでいます。そこで世界物流の現状を俯瞰するとともに、今後の動向について紹介します。

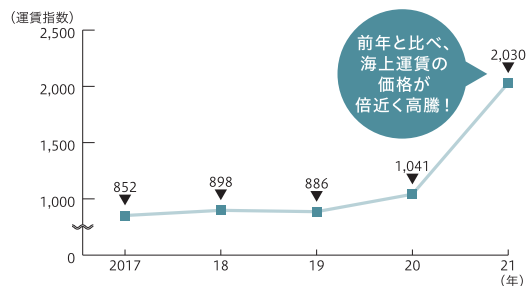
なぜチーズは値上がりしたのか？

国内のある乳製品メーカーは2022年4月、チーズの価格を4~10%上げる改定を行いました。これは、世界の経済活動の再開に伴い世界的にチーズの需要が増えたことが理由に挙げられますが、それに加え日本のメーカーが輸入している原材料の値段が上がっていることも要因のひとつといえます。

では、なぜ原材料の値段が上がったのでしょうか？ それは、

ニュースでもしばしば取り上げられる「国際物流の混乱」が影響しています。世界的にコンテナ不足が慢性化し、海上運賃が高騰【グラフ】しています。その結果、チーズに使われる原材料だけではなく、パッケージに使われる資材や物流費も値上がりし、販売価格にも転嫁せざるを得ない状況になっているのです。

【グラフ】北米往航東岸・年別運賃指数(CCFI)の推移



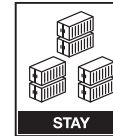
コンテナ不足を背景に海上運賃が高騰し、私たちの生活に影響が及んでいます。

CCFI: 上海航運交易所が発出・公表する中国出しコンテナを対象とした運賃指数のこと。1998年1月1日の値を1,000としている。
出典: 公益財団法人 日本海事センター企画研究部作成

コンテナ不足を招く3つの要因

では、なぜコンテナ不足が発生しているのでしょうか？ その要因は、大きく以下の3つになります。

①労働者不足で コンテナが滞留



北米の港(ロサンゼルスやロングビーチなど)では、港湾の労働者不足でコンテナの荷卸しができず、多くのコンテナ船が港の周りで入港待ちとなり、コンテナが滞留している状態が続いています。

また、労働力不足の原因はコロナの感染だけでなく、北米で行われている労働者への「給与補償政策」も一因です。「仕事をしなくても給与相当の収入が得られる」ことで働かない人を増加させ、それが労働者不足の発生につながっているのです。実際の給与は時給ベースで、コロナ禍以前の1.5倍まで上がっているという報告もあります。

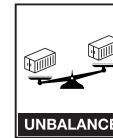
②戻ってこない 空のコンテナ



コンテナ滞留の結果、空コンテナが輸出拠点である中国をはじめアジアに戻ってこない現象が起こっています。それは、「巣ごもり需要」による欧米での需要増加でアジアから輸出するコンテナが多い一方、アジア向けの貨物が少なくなっているためです。

この状態に、いち早く手を打ったのが中国です。空コンテナを高い運賃を払って自国まで戻し、それを使って欧米への輸出を続けています。日本の輸出企業が空コンテナを入手するには、中国の調達価格と同等の費用が必要になっているのです。

③アンバランスな コンテナ需給



コンテナが不足しているならば“増やせば良い”と思われるかもしれませんが。以前は、コンテナは供給過多となっており余っていました。その上、アメリカのトランプ政権で米中の貿易が縮小するという見込みもあり、世界的にコンテナの生産を抑制する動きが広がっていました。

また、「今はコロナの影響でコンテナ不足が続いているが、収束すれば需要は落ち着くだろう」という考えが製造企業にあり、増産することに消極的になっているのもコンテナ不足を招いている一因になっています。

求められるサプライチェーンリスクの分析、再構築

コンテナ運賃の高騰のほか、原油高も物流コスト高騰に影響しています。この原油高も中東の原油生産抑制だけではなく、中国による買い占めもあるのではないかと、ともいわれています。原油高は、世界的に海上のみならず航空も含め国際輸送の運賃の高騰、また日本国内での輸送コスト上昇へのインパクトも小さくありません。

このように、世界の物流を取り巻く環境は大変厳しいもので

あり、まだしばらくは続く予想されます。コロナ禍の影響で、グローバルなサプライチェーンが断絶され、大きな問題となりました。日本企業もBCPの観点から国内生産へ切り替える動きも見られています。ただ、日本は海外からの原材料などの調達を避けて通れません。そこで、サプライチェーンをどう組み直すかを戦略的に考え直さなければならない時期にきているのです。

角井 亮一 (かくいりょういち)

株式会社 イー・ロジック 代表取締役社長兼チーフコンサルタント。上智大学経済学部を3年で単位取得修了し、渡米、ゴールデンゲート大学からマーケティング専攻でMBA取得。2000年、株式会社 イー・ロジック設立。著書に『アマゾンと物流大戦争』『すごい物流戦略(日本語/ベトナム語)』などアマゾンや物流関連の書籍を多数出版。

